

2022
1-3

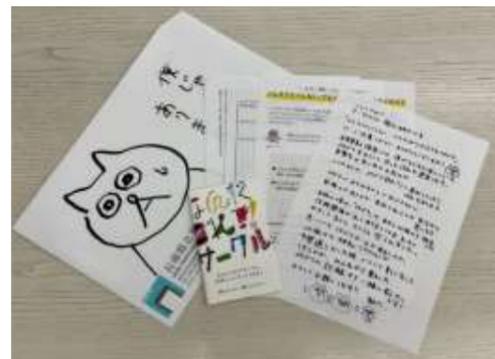


「注目作家紹介プログラム チャンネル12 飯川雄大」展関連こどものイベント 「飯川雄大&なんだこれ?!サークル バレそうでバレない、でもやっぱりバレそうなイタズラ」作品募集

- 対象：小学3年生以上もしくは大人とこどものグループ
- 参加者：10組(25人)
- 参加申込：2022年1月8日(土)～2月16日(水)
- 作品締切：2022年3月13日(日)

- 概要
チャンネル12(2022年2月26日～3月27日開催)の出演作家 飯川雄大さんから出されたお題「バレそうでバレない、でもやっぱりバレそうなイタズラ」を考え、映像や写真、またはイタズラした現物を美術館に送ってもらいました。
送ってもらった作品は、3月21日に公開収録イベントとして行われた作品講評会にて紹介しました。
(右ページ参照)

- 参加者募集から作品の応募まで
当館ウェブサイトにて参加者を募集し、参加者には作品づくりのヒントとなるお手紙をお届けしました。封筒は飯川さんが1枚ずつ絵柄を変え手がきしたもので、飯川さんからのお手紙も添えられ、作家とともにつくっていくイベント、という印象を参加者に持ってもらったのでは。(右図参照)
参加者は自身の作品とその説明文(なんだこれ?!紹介カード)を美術館まで送りました。



「なんだこれ?!アワー特別編 バレそうでバレない、でもやっぱりバレそうなイタズラ SP」公開収録

- 日時：2022年3月21日(月・祝) 13:30～16:50
- 出演：飯川雄大、岩淵拓郎(なんだこれ?!サークルぶちょう)、鈴木慈子(当館学芸員)
- 会場：ミュージアムホール
- 参加人数：84名 ※聴講無料
- 概要
飯川さんと岩淵さん、鈴木学芸員と一緒に講評を交えながら、参加者の方々に届けられたイタズラを鑑賞しました。

- 公開収録
会場に集まったみなさんと一緒に「なんだこれ?!アワー」とタイトルコールをして公開収録イベントがスタート! 作品を講評する3人の出演者の自己紹介のあと、岩淵さんが今回のイベント内容について説明し、作品を鑑賞して「なんだこれ?!」と思ったら拍手することを参加者と共有しました。
岩淵さんの進行で、まずは過去のイベントで紹介した作品を見てウォーミングアップを行った後、集まった10作品を順番に鑑賞しました。それぞれの作品について、3人の出演者が面白いと感じたことや気づいたことなどのコメントを聞きながら、応募作品を来場者のみなさんと一緒にいてねいに味わう時間となりました。
また作品の合間に、「なんだこれ?!」作品の代表とも言える当館所蔵の作品3点(田中敦子《作品〈ベル〉》、吉村益信《豚・pig lib;》、嶋本昭三《この上を歩いて下さい》)を、それらの作品に詳しい鈴木学芸員の解説を交えながら鑑賞しました。
笑い声やあたたかな拍手が会場に鳴り響き、最後に再び「なんだこれ?!アワー」とタイトルコールをして会が終了しました。

- 作品紹介と講評会の様子を一部ご紹介
 - ・海苔を食べてしまったことをママにバレないように…なんだこれ?!な作品
→「動画に出演していた本人の演技がすごい!」と出演者のみなさんがコメントしていました。
 - ・机の湯呑を動かしたら…なんだこれ?!な作品
→湯呑の絵柄も独特でした。思わず「なんだこれ?!」と言ってしまうかもしれません。
 - ・引き出しの中身を取り出したいのに…なんだこれ?!な作品
→動画の途中、会場からも「あぁ～」という声が聞こえてきました。「急いでいるときには本当に怒られるかもしれない」と飯川さんがコメントしていました。

会場には今回作品を応募してくれた子ども何人も集まってくれていました。大きなスクリーンで自分の作品を見て、出演者が自らの作品にかけてくれる言葉を嬉しそうに聞いている姿が印象的でした。

作品や公開収録の様子は、当館公式YouTubeチャンネルにて公開しました。ぜひご覧ください。(2023年6月現在)

- まとめ
みなさんが考えた作品を鑑賞して、自分もこんなことやってみたいと思われた方もおられるのではないのでしょうか? 飯川さんがイベントの最後に「美術館はなんだこれ?!のかたまり」とお話しされていました。ぜひ美術館に来て、さまざまな「なんだこれ?!」を発見してみてください。